

# 総合新川橋病院 心臓血管センター専門医による 心臓血管動脈硬化ドック

## 《心臓血管動脈硬化ドック検査項目》

- ①身体測定（身長・体重・血圧・心拍数測定・BMI）
- ②血液検査（血液一般・肝機能・コレステロール・糖尿病・腎機能）
- ③安静時心電図検査
- ④胸部X線検査（正面・側面）
- ⑤心臓超音波検査
- ⑥運動負荷心電図検査
- ⑦動脈硬化検査 ABI・CAVI
- ⑧頸動脈超音波検査
- ⑨冠動脈カルシウムスコア（CT検査）
- ⑩医師診察

**料 金** : 28,875 円（消費税込み）

※当院人間ドックと同時受診の場合も同額となります。

事前予約が必要です。詳しくは下記までお問い合わせください。

◇お問い合わせ先

〒210-0013 川崎市川崎区新川通1番15号

医療法人財団 明徳会 総合新川橋病院 健康管理センター（別館4階）

《直通》 Tel044-222-1237

【予約受付時間】 月～金 午前8:30～午後5:00

土 午前8:30～午後1:00 ※祝日除く

# 心臓血管疾患（＝動脈硬化）あなたは大丈夫？

## 【心臓血管疾患（＝動脈硬化）とは？】

心血管疾患は癌と同様に、症状が無いまま病状が進行し、症状が現れたときは重症となっていることがあります。ときには死に至る危険性の高く、「サイレントキラー」とも呼ばれています。心血管疾患は日本では、65歳以上の女性における死亡原因の第1位です。心血管疾患から心臓発作・脳卒中・足の切断などになり、死に至る場合があります。

## 【早期発見で命を守りましょう】

心血管疾患では症状が徐々に現れることもありますので、癌と同様に早期に発見することが最も重要です。

循環器疾患（心血管疾患）は、心臓だけでなく血管の疾患でもあるため心臓・足・脳だけでなく、他の重要な臓器への血流にも影響を及ぼします。適切な心機能と血流がなければ、身体の他の部分の機能も徐々に損なわれていきます。

## 【心血管疾患の危険因子】

- 1.喫煙
- 2.糖尿病
- 3.高血圧
- 4.年齢が50歳以上
- 5.高コレステロール
- 6.腎臓病（透析患者）
- 7.心臓病または脳卒中の家族歴
- 8.肥満
- 9.ストレス

### 《心臓血管動脈硬化ドック検査項目》

- ①血液検査 ⇒肝機能検査・脂質、糖代謝検査・腎機能検査・貧血検査・炎症反応を調べます。
- ②安静時心電図検査 ⇒心筋の状態や心拍の様子を電氣的に記録したもので、不整脈・心肥大・虚血などがわかります
- ③胸部X線検査（正面・側面）⇒肺や心臓の状態を知ることができます
- ④心臓超音波検査 ⇒心臓の動きを観察することで、心機能や心房、心室の肥大や弁の異常がわかります
- ⑤運動負荷心電図検査⇒運動により心臓に負荷をかけながら心電図を記録することで、狭心症・不整脈を調べます
- ⑥動脈硬化検査  
ABI・CAVI ⇒手足の血圧と脈波を調べることで、動脈硬化の程度を数値（ABI・CAVI）として表します。ABIは、足の動脈のつまりの程度を表します。CAVIは、動脈の硬さの程度を表します
- ⑦頸動脈超音波検査 ⇒頸動脈は脳につながる大切な血管です。動脈硬化の評価や脳卒中の予測になります
- ⑧冠動脈カルシウムスコア（CT検査）⇒心臓を栄養とする冠動脈の動脈硬化をCT検査によって評価することで、冠動脈疾患を予見することができます